

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17:00~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	6	2	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	6	2	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	5	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	3	3	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>初回面談、もしくは利用問い合わせの段階から、職員間で連絡ノートや臨時のショートミーティングなどにより、情報を共有してスムーズにサービスが開始できるようにしている。初回プランの内容にこだわらず、サービスを実施しながら要望を伺い、必要に応じて柔軟に対応している。一緒によりよいケアを目指したい旨を、契約時に本人・家族に伝えている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人の必要に迫られて、急なサービス利用開始になるケースもあり、ニーズの把握が十分でないこともあった。早めのスケジュール調整で、どのようなケースでも事前に十分な面談の機会を持つ必要があった。初回面談時に、管理者（または計画作成担当者）以外の職員を同席させる余裕がない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者、計画作成担当者のスケジュールを他職員にも公開し、初回面談の時間を全職員で協力しながら確保する。</li> <li>・早めのスケジュールリングで、管理者だけでなく、担当になる介護職員も利用前に関わられるような機会を持つ。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17 : 00～19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	4	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	3	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	4	5	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	3	3	2	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
定期のミーティングに限らず、日常業務の中で利用者の細かな変化や言動に至るまで、情報交換ができて  
いる。また連絡ノートを活用して、その情報が全職員にいきわたるようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
生活上の不便、不安を解消することに主眼が行きがちで、長期的な視点に立った支援が不足している。本人に  
確認が難しいケースでも、家族と密に連携できているケースと、関わりが薄いケースとがまちまちである。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
・アセスメント時に、必ず本人の望むことを伺い、全職員に周知する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	5	4	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	5	1	1	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	5	3	2	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	3	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 細かな変化に至るまで、日常業務の中で情報交換ができている。介助方法も状態に合わせて都度変更して行っている。体調不良の場合には、看護師と相談の上、早めの受診を勧めている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること サービス利用前の生活歴や習慣について、把握できていないケースがある。これまで続けていた本人の生活習慣より、職員が考える健康的で安全な生活の在り方を勧めてしまいがち。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・生活歴や習慣について、アセスメントシートに必ず記載し、全職員に周知する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	5	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	4	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	4	3	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	6	4	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
家族との連絡は、管理者の携帯電話を通していつでも行えるようにしている。家族からの相談や要望を随時受けることができ、24 時間 365 日の安心の提供に役立っている。事業所として自治会に加盟し、活動に参加することで、地域とのつながりを常に保っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
サービス利用前の情報について、把握不足のケースがある。インフォーマルなサービスについて、もっと把握して活用していく姿勢が必要。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
・運営推進会議にて、地域で活用できる資源や人脈についての情報提供をお願いする。  
・地域資源の活用状況については、随時運営推進会議にて報告する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	4	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	5	1	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	4	0	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 通い、訪問サービスは、利用時間帯や回数をできる限り柔軟に行い、早朝から夕食後までの幅広い時間帯での対応をしている。夜間帯もオンコールで、随時対応を行っている。宿泊サービスについても、必要な回数を必ず提供している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 地域資源の活用については不十分であり、今後の改善が必要。加盟している自治会からの援助は受けやすいが、他地区での関わりが不足している。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
 ・運営推進会議を通して、参加者から、活用できる地域資源を紹介していただく。  
 ・利用者の近隣にも挨拶を行い、情報を得やすい関係づくりを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	1	5	3	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	5	3	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	3	2	4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	5	2	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地元自治体に加盟し、活動には積極的に参加している。関係するサービス機関とは互いに連携し、特に福祉用具は本人の状態や要望に合わせて、調整や交換など随時の対応が素早く行えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自治体や地域包括支援センターの会議には参加できていない。日々の随時的な対応に追われて、時間をとれていない。また地理的に団地の最奥にあることから、事業所を近所の方が訪れることがない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・自治体や地域包括支援センターが主催する会議や研修には、時間調整して参加する。 ・地域活動への参加職員が固定化しているため、新しい職員にも参加の機会を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17:00~19:00)

7. 運営

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	3	2	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	3	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	1	5	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	5	3	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
月一回の職員会議以外でも、管理者を中心として職員の意見を聞き、事業所の運営に反映させている。また運営推進会議でいただいた意見も事業所に持ち帰り、全職員と協議の上で改善に生かしている。自治会活動には積極的に参加し、一定の貢献ができていると思う。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
利用者のケアについての意見交換や議論は活発であるが、事業所の運営方針や今後の展望については、現場職員からの意見は多くなく、もっと引き出していけると思う。  
地域の活動には参加できているが、参加職員に限られている。地域に根付く意識を高めるためにも、多くの職員を巻き込む必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
・年間の事業計画策定に当たっては、全職員の集まる場で議題に挙げ、意見を反映させる。  
・地域活動の予定に合わせて現場スケジュールを調整し、勤務時間内で地域活動に参加することで、これまで参加が難しかった職員にも活動機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	5	1	2	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	2	3	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	6	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	1	4	5	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員会議内で研修の場を設け、毎回違うテーマで研修を行っている。 資格取得では、本年度は認知症介護実践者研修修了 1 名、小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修修了 1 名。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 施設外研修への参加が少ない。また、地域連絡会への参加ができていない。 事故の発生件数は少ないが、事故予防の取り組みは十分でない、危機予測による事故防止の取り組みの充実が必要。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・事業所として、勤務日を当てて参加できる施設外研修を 3 件以上実施する。 ・地域連絡会に参加し、得た情報を職員会議で報告、運営に生かす。 ・職員会議でリスクマネジメントに関連した時間を設ける。
---------------	--



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	4	5	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	4	4	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	6	1	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待に当たる行為は一切行っていない。事業所開設時からの職員間の声かけや、悩みを協力して解決してきた流れがあり、人権侵害行為を行わないことは、当たり前の風土ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所のホールが手狭になってきており、一つの空間の中にいることで、利用者同士の人間関係に苦慮することが多くなってきた。認知症への対応もあり、個別の空間の必要性を感じる。個人情報外部へ漏えいすることがないよう管理できているが、情報の整理と、不要なものは廃棄するなど、管理実態をより正確に把握しておく工夫が必要。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ホールのレイアウトを、個別対応も可能な場所を設けるなど工夫する。 ・情報ファイルの整理。必要な情報のみを保管する。	



小規模多機能型住宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) エポックワン	代表者	大西 益男	法人・事業所の特徴	<法人> こもればの杜グループは、日々感謝の気持ちを持ち、ご利用者様の尊厳を守り、命と生活の担い手となり、安心、安全、健全な運営の実現を目指します。 <事業所> 利用者様の御希望や思いをしっかりと御聞きした上で個人のスタイルに応じたサービスを提供させて頂いております。又押しつけのプログラム等は無くゆっくり御過ごし頂く中で自立支援を行います。
事業所名	小規模多機能型住宅介護	管理者	山田 敬二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	欠席	0人	1人	1人	2人	1人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			スタッフ全員で取り組もうと努力される姿勢は感じられる。余裕をもって職員が評価できるよう留意してほしい。	今回は評価にかかる時間があまりにも短時間になってしまいましたので、次回は時間的にも余裕を持った上で評価していくようにしたいと思います。事業所自己評価に関しましては、常勤非常勤の区別なく取り組むことができたが時間的余裕があれば、1～2回/週の夜勤兼務者にも回答を求められたかもしれないです。
B. 事業所のしつらえ・環境			当施設を訪ねる機会がなかったため事業所の環境について判断できなかった。B-No. 1、No.2 の問いに対し、「いいえ」「わからない」と答えた職員の意見を分析する必要があるのでは。	ダンディクラブの玄関入口は、電子錠になっていますが、日中は外から入る場合は常に自動ドアがひらくようになっています(7:00～19:30)。玄関周りにプランタを置き花を植えて、近寄りやすい明るい雰囲気を作るとともに、物の片づけを行い事務所内をきれいに清潔に保つよう努めてまいります。運営推進会議の終了後等に時間を作って頂き、当事業所を案内する機会を作ります。
C. 事業所と地域のかかわり			地域とのかかわりを大切に実際に地域活動に参加していることは感じられる。そういう活動を通じて事業所のことを理解していただき、地域との交流や認知症についての相談も受けてほしい。	地域の自治会長様とも連絡を取らせていただきながら、夏祭り、どんと焼き、地域の清掃活動、立哨等に参加させていただいていることを高く評価していただいたと考えております。これからもすべてのスタッフが『地域』への意識を高めるように、地域行事やイベント等に参加させていただきたいと考えております。そういった地域活動参加の中から、地域の現状を読み取り、当事業所とのかかわり(認知症相談等)につなげていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			運営推進会議で地域のイベントや外出の報告を受けている。利用者と地域のつながりを今後も広げてほしい。	地域行事やイベントに職員としては、参加させていただいておりますが、ご利用者様がもっと参加できる方法はないか検討してまいります。また、小規模多機能にはケアマネージャーも在籍しておりますので、ご近所の方の介護相談も受けられるような機会を作ればと考えております。
E. 運営推進会議を活かした取組み			事業所の取り組みや状況を詳細に説明されている。ヒヤリハットの報告をするとよいのでは。会議のメンバーに、若いお母さんとか定年後の力の余っている男性とか新しい風を入れると今の地域の現状が入ってくるのでは。地域活動に参加したことが感じられることを事業所の何かに結び付けることが大事。	事業所で行っている行事やイベントについての説明はよくできているということで、評価して頂いたと考えています。これを継続していきます。一方で、事例見当が十分に行われていないと考えられますので、地域の方へもつながるような事例を検討できる場にしていきたいと考えています。地域の若いお母さんや定年後で時間のある方等を新しい風として入れることで地域の『今』がわかるようになるので、これを実現する方法はないか検討します。
F. 事業所の防災・災害対策			会議で防災計画について具体的に説明するとよいのでは。災害発生時、地域の協力が得られるとよい(見守り等)。引き続き防災・災害対策に対して地域に発信していくことが大切。	昨年度は年2回の防災訓練のうち1回は地域の方にも参加して頂き、防災訓練を実施しましたが、今年度は事業所のみで行いました。今後は年2回のうち1回は地域の方が参加可能な防災訓練を実施したいと考えています。また、事業所で作成している火災・風水害・地震の防災計画を運営推進会議で公表し、ご意見を頂きそれを計画の中に反映させていきたいと考えています。

